

駒澤大学 1v-0 浜松大学

SOUL OF KOMAZAWA
FORZA 駒澤 Vol. 48
 2002. 12. 13
 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1
 駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」
 Eメール forzakomazawa@hotmail.com
 TELFAX 03 (3418) 9556 発行人 内田浩嗣
 打倒、Jチーム!

延長に入り円陣を組む駒大。集中力を切らさずに最後まで戦い抜いた末の勝利だった



Vゴールに喜ぶ駒大イレブン。苦しみながらも3回戦に駒を進めた(撮影・岩田陽一)

Vゴールで挑戦権獲得!

大学勢対決を制し、3回戦進出!

「やりにくい相手ではなかった。ただうちが決めるところで決められなかったのが苦戦した理由だ」と思う。巻の試合後のコメントがこの試合のすべてを物語っていた。

駒大は序盤こそミスからピンチを招いたものの、時間がたつにつれて試合を支配していった。しかし、点が取れない。後半になっても状況は変わらず、駒大は最終攻める続けるが深井と巻のシュートはバーに阻まれる。一方、浜松大は萩田のスピードを活かしたカウンターをしかけるが、49分のピンチは井上が間一髪で防ぎ難を逃れた。

結局このまま両者無得点で、延長へ。そして、試合を決めたのはここまで駒大の攻撃陣を引く張つてきた2人だった。延長前半2分、深井の絶妙なセンターリング(こまぎ、まき、マインツ)で、



「今日はディフェンスが頑張ってくれた」(深井)と言うように井上(右)をはじめとしたディフェンス陣がこの試合、奮起した

浜松大 長谷川健太監督インタビュー
 駒大の印象は？
 長谷川「本当に素晴らしいチーム。うちは試合前に前線からのプレッシャーが非常に激しいのでそれに負けないように指示したんですけど、一気に選手が起る。(秋田監督)その言葉が胸に駒大はマリノス戦に挑む。(内田)

打倒F・マリノス

ついにここまで辿り着いた。天皇杯3回戦、駒大はJリーグの強豪チーム、横浜・Fマリノスと対戦する。この試合の注目はなんといっても横浜に去年まで駒大サッカー部に在籍していた那須大亮選手がいるということだろう。対戦が実現すれば興味深い一戦になる。横浜には昨年のジュビロ戦(天皇杯3回戦)で対戦した奥大介選手も所属する。その他にはJリーグ最少失点のディフェンスに大学ナンバー1の攻撃陣がどのように挑むかも注目だ。駒大には是非とも「打倒J!」を達成して欲しいものだ。



▲横浜の中心選手、奥は昨年も天皇杯で駒大と対戦。駒大は去年の借りを返せるのか

12月8日 13:00 西が丘サッカー場	
駒大1v(0-0)0浜松大 (静岡代表)	
得点者(アシスト)	
【駒】92分:巻誠一郎1(深井正樹2)	
KOMAZAWA	HAMAMATSU
GK①新沼泉(4)	GK①宮城達也(3)
DF④井上純一(4)	DF②新井裕二(2)
DF⑫河合雄宇介(4)	DF④富松範臣(2)
DF③松田大輔(4)	DF⑤土屋 真(1)
DF②角屋博文(4)	DF⑤佐々木賢哉(4)
(60分⑩田中信成(3))	MF⑩木下慎也(4)
MF⑥中後雅喜(2)	(71分⑥渡邊 俊(2))
MF⑦橋本早十(3)	MF⑧岩田卓也(1)
MF⑧中田洋介(3)	MF⑭田中淑史(4)
MF④小林 亮(2)	(77分⑦野中昭吾(4))
FW⑩深井正樹(4)	MF⑧大石哲也(1)
FW⑨巻誠一郎(4)	MF⑨三原豊昭(2)
S U B	FW⑩萩田裕介(2)
GK②太 洋一(2)	S U B
DF⑭山本陽慈(4)	GK②青木智靖(2)
DF⑤鈴木祐輔(2)	MF⑥伊熊勇人(1)
FW⑨鎌田浩史(4)	FW②小田竜也(1)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	長谷川健太
警告(C)/退場(S)	
【駒】58分:河合雄宇介(C)、69分:田中信成(C)	
[シュート]20:9[枠内シュート]6:2[決定機]9:3	
[GK]12:16[CK]5:8[PK]0:0[直接FK]15:15[間接FK]2:3	
[OS]2:3[主審]石沢 知[観衆]740人	
※上記データは全て左側の数字が駒澤。メンバー表の横の()内は学年。枠内シュート、決定機は本誌記者による記録です	